



9月25日、秋蚕およそ40キロの出荷が終わりました。鹿ちゃんに桑をだいぶ持っていかれたため通常より4分の1減らしてのお雇いでしたが、割と上質な繭に育ってくれたということです。稲刈りは繭かきなどの作業の合間を縫って19日ごろからスタート。爽やかな秋空の下、10月2日現在、最後の一枚の収穫が行われています。今年は前島ほか、東京から1名、大阪から釜沢に移住された文子さんもお手伝いに駆けつけワイワイにぎやかに作業をさせていた

だきました。7枚の田んぼのはざ掛け。作業は人手が多いほど捗ります。お手伝いをさせていただいているとつい夢中になって目線は必然的に下を向くわけですが、そんな時、紙谷さんは「景色をみて、息をしてやっておくん！」と労ってくださいます。「大鹿最後の老百姓」といわれる紙谷さんの働きっぷりは若者たちの目にどのように映ったのでしょうか。



実りの秋を迎えた伊那谷。大鹿村でも稲刈りが一斉に行われました。ちょうど小学校の運動会の日と重なるのが堂ヶ垣外(どっがいと)の田んぼの収穫。にぎやかな雰囲気と共に子どもたちの元気な声に後押しされながら作業に動きます。今となつてはなかなか交流の機会がない「大鹿っ子」たちとのつながりを感じられる数少ない機会。お昼時には遠い幼少時代の思い出話に花が咲きます。

待望のゴトウムシ!! 庭のポプラが倒れてくれたお陰で久々に大好きなゴトウムシ(カミキリムシの幼虫)を食すことが出来ました。でもやっぱり冬の彼らのほうが美味。内臓が木屑でいっぱいだったため、少々ばさつくのです。冬の出会いを待ちます☆



ここ南信州には70~80基ともいわれるほど多くの獅子舞が保存・伝承されています。幅約2m・高さ約3m・長さ約15mと、大型バスと同じくらいの胴体。大人が抱える10kgもある頭。色とりどりの幌幕や魔除けの獅子花。大きな胴体からはお囃子が響き、大きな獅子は頭を振りながら勇壮に練り歩きます。この獅子は「屋台獅子」と呼ばれ、日本全国でもこの地区にしかない珍しい形の獅子舞です。そんな地元のお獅子たちから全国のお獅子が一堂に会する「全国獅子舞フェスティバル」が10月30日、31日に飯田市街地で行われます。是非この機会にご覧ください。また飯田美術博物館ではそれに合わせて特別展「獅子舞」が10月16日~11月23日まで行われます。招待券があります。先着4名様ご招待!ご希望の方はお声をおかけください。

大阪から今年の5月に大鹿村釜沢(かまっさわ)に移住をされた谷口昇さん、文子さん夫妻を訪ねています。のびさんこと、谷口昇さんにお話を伺うなかで「釜沢には経済的に成功しようと思って来てはいない。生き延びるためにきました。」という言葉に日本における民俗学の開拓者、柳田國男が断定している言葉を思い起こしました。「人間が地方や田舎に惹かれるのはそれが物見遊山であれ、別荘を持つことであれ、土から生まれる食物を求める動物的本能に根ざす」と田舎に住むということは矛盾する二つのものがあると思います。



ひとつは村の生活の安らかさ、清さ、楽しさ。もうひとつは経済的に不自由、出会いが無い、何かことを起こせば2転3転もして「うわさ」として広がる圧迫感。前者の田舎への憧れは、都会生活で不安を覚えるためにもつ田舎へのノスタルジアで、後者の田舎への同情はどうしてもこの世は苦しいものと見がちな私たちの心の反映です。昔に比べればインフラがだいぶ整った現代、そんな矛盾をどのように埋めていくかがこれからの地域課題のひとつではないでしょうか。のびさんは現在ご自分の持ち前を生かし「大鹿で健康面で新たなパイプ」になればと村内はじめ、近隣の市町村へとマッサージの出張をされています。先日、正介さん重子さんもうわさを聞きつけ施術を受けました。重子さんは特に相性がよかったようで大絶賛☆のびさんのマッサージはタイ・中国伝承医学に基づいたツボ療法。体には「経絡(けいらく)」という気(エネルギー)の道があり、気の流れが悪くなることで、様々なからだの不調が起るといふ考えから施術を通じて気の流れを整えることにより自分では気づかない筋肉の緊張をほぐしていただけます。この「経絡思想」は東洋医学に受け継がれてきた基本的な概念で、そもそも東洋医学において病というのは生命力=正気が衰えたとき(虚症)健康を損なう悪い気=邪気が強まったとき(実症)正気が衰え、同時に邪気が強まるとき(虚症かつ実症)ととらえ、このような「虚」かつ「実」の関係から、すべての病気を見ていきます。現在主流となっている西洋医学は「実」のみを排除するというもの。経絡治療は「実」の根源「虚」にも目を向けて治療していくものです。自己の体の状態を知ることにより精神と魂がより有効に働くようになります。また古代インド哲学では肉体を構成する3要素、徳性(サトヴァ) 激性(ラジャス) 無知性(タマス)があり、食べ物などでバランスをとるといふお話も興味深く伺いました。両親はどちらかというと「激性」が強いということで朝の生野菜を勧められました。

●のびマッサージミニメニュー●  
 【全身施術】  
 タイ・中国伝承医学に基づいたツボ療法。カウンセリングによって個人に合った施術を行います。  
 【足裏下腿マッサージ】  
 からのたの器官や臓器に対応する足裏の経穴(ツボ)を刺激するマッサージ。足の疲れを取り、全身の血行を促します。  
 【足裏マッサージ+全身施術】  
 足裏マッサージで血行を促した後、症状に合ったツボ療法を行います。

●料金●  
 60分 4500円  
 90分 6000円  
 ※ご予約の際にご希望のマッサージをお伝えください。  
 ※お二人以上でご予約いただいた場合、各500円割引いたします  
 ※村内出張料金 一律500円  
 ※ご予約お問い合わせ  
 電話 0965(06)2022  
 nobi57@hotmail.com

# 大鹿スケッチ

2010 神無月  
 前志満 ぐみ  
 第 19 号

